

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月28日（17：00～18：30）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	高橋所長、阿部係長、菊地、荒川、高橋、埴崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	7人	3人	1人	10人

前回の改善計画	初期支援はケアマネと複数の職員（ケアマネ以外の職種）で関わり、情報共有や関係づくりをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネと介護、看護職員の情報共有がしっかり出来てないこともあり、対応時戸惑うこともあった。家族の情報にスタッフにスムーズにつなげる連携を高めていく必要があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		7	3	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		6	4	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	5	4	1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	5	5	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 新規利用日には特に声掛けや気遣い行い、状態把握に努めている。 - 送迎、お便り帳で会話通じ利用者の情報、配慮すべきこと不安等を職員で情報共有している。 - 本人の変化に気づきミーティングで状態の報告し、改善する方法とっている。 - 初回利用者様が緊張しないように声掛けしている。 - 利用者の既往歴をみて家族からの要望を受けて反応や様子を見ながらまずは慣れて頂けるような対応。 - 職員間の情報共有はできている。体験利用や初回利用時、挨拶をしっかりやっている。 - 毎日の食事提供については一人ひとりの食形態に合った食事を提供できていると思う。 - 初回利用の時に食事提供をチェックしたり歯の状態、嚥下の状態などケアマネ看護師と相談し利用者がおいしく食べていただけるよう配慮できたと思う。又、その利用者様の体調なども朝に看護師に聞いたりミーティングノートで確認するよう心掛けている。食事時の利用者様を毎日見ながらどのような食事メニュー、食形態が望ましいか考えている。 - 利用者の情報は文書やミーティングノートで把握するようにし、足りない部分は直接職員に聞いている。 - ご本人の状態を観察し、不安を感じるものの内容不安が軽減できるよう意識して支援している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 本人のニーズについての情報共有が不足している。 - 文書の伝達はあるが、具体的な要点ここが大切であるという話に熱意が伝わってこない事がある。 - 退院後の利用時等、書類とは状態が異なっていることもあり対応に困る時がある。又、夜間の排泄状況や過ごし方などわからないことが多い。 - まだ声掛けなどが出来ていないのでできるようにしたい。 - ご家族と接する機会があまりないので声掛けなどは出来ていない（ご家族に対しての）ミーティングに	

参加で来ていない。訪問に行っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

終会時の中でも初期支援については、時間設定し皆で情報共有し対応方法について話し合う機会を持つ。

事－①

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月28日（17：00～18：30）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	高橋所長、阿部係長、菊地、荒川、高橋、埴崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1人	5人	4人	10人

前回の改善計画	本人のことを理解するために職員会議でも3カ月評価を行い、目標把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	人員不足もあり、開催できた月とできない月があり、定期的に開催することができなかったが、短期、長期目標の把握については担当職員中心に把握されている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		4	6	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		5	5	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		4	5	1	10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	2	6	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・～したいはサービス計画書をみて何となく分かっている。 ・ケース記録に目を通し、目標把握に努めている。 ・3か月評価も記録している。・本人のニーズを感じ取りながら話し短時間でも近づけるような関わり。 ・ミーティングで関わった出来事を共有し支援につなげている。 ・本人と日々会話し、目標確認や悩み事を聞き出している。少しずつゴールに向かっていく。 ・ケース記録を記入する際に見ることがある。ミーティングの時には発言するようにしている。 ・できていることはなかったが、利用者様との会話の中で、分かったことは職員に報告したり、ミーティングノートの記入しておくことはできた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員間で共有できていない。職員会議での担当者の目標把握不足。 ・担当でない方の評価は自分の目の他、医療関係者の話を参考にしているがミーティングや職員会議で特別指摘を受けた方が中心になる。 ・目標の周知分かるように担当者より伝わっていない。 ・本人のことを理解することが出来ていない。 ・目標には向かっているけどなかなか進まない。 ・職員会議で話し合う機会がない。 ・目標にそった記録が出来ていない。・ほとんど出来ていないことがわかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケース記録にも、担当職員名の記載し目標把握する。評価月一覧表などを作り職員会議時に開催することにより、皆で評価できる形を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月28日（17：00～18：30）
3. 日常生活の支援	メンバー	高橋所長、阿部係長、菊地、荒川、高橋、埴崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2人	6人	1人	9人

前回の改善計画	午後のお茶の時間に担当利用者に「以前の暮らし方」について聞き出しミーティングで報告する。
前回の改善計画に対する取組み結果	「以前の暮らし方」については、担当職員を中心に午後のお茶時間などを利用し聞き取りで来ているが報告までは至らない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1	8	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	9	1	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		4	7	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	9			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	5	4	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の気持ちや体調変化に気づき共有することができている。お茶の時間を利用し、会話から普段の様子（自宅）を聞き出す努力をしている。 ・本人の状況に合わせてコミュニケーションを取り、食事入浴排泄の声掛けを行っている。体重変化も見ている。体調変化時家族へ連絡し通院進めている。その後の様子もできるだけ何うようにしている。 ・送迎時やお茶の時間に自宅での様子や若いころのお話など向けるよう意識している。 ・本人の状況に合わせた基礎的な介護が出来ている。 ・本人の要望に沿った排泄介助をしている。ご家族から本人の様子の変化を伝えられた時、ミーティングなどで共有できた。 ・食事についてはがんばってできていると思う。利用者様との会話はできていると思う。 ・ミーティングノート朝の申し送りで把握している。バイタル測定、顔色、行動を見て把握している。 ・体調の変化において情報の共有が出来ていると思う。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・なかなか仕事業務の方を優先し利用者様との時間が取れなかった。 ・「以前の暮らし方の把握」「生活環境の理解」が不足している。以前の暮らし方を10個以上把握できていない方がいる。 ・担当者との検討会ができていない。話し合う機会がない。 ・職員間で利用者の家での情報や好み等共有することが少なくなっている。 ・本人の気持ちに対し、抑圧的な言動をしてしまう事もある。 ・排泄介助等の介護が出来ていない。基本的な介護が出来ていない。	

・以前の暮らしを把握していない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

午後のお茶時間、入浴支援時等に「利用者の以前暮らし方」について聞き出しミーティングノートを活用し職員間で共有していく。

事一③

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月28日（17：00～18：30）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	高橋所長、阿部係長、菊地、荒川、高橋、埴崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	2人	5人	11人

前回の改善計画	地域民生委員の方へパンフレットを届ける事や、ホームページ等でステーションの活動の事業所紹介を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍で、街地区民生委員との懇談会開催することができなかった（職員不足やコロナ禍での開催に向けて調整が難しかった）。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		3	6	3	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		4	4	4	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		1	8	3	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2	6	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 基本情報や本人との会話から生活などは知ることができている。 - ステーションでの様子はお便り帳やホームページで発信できている。 - 通所休みの家での過ごし方を聞いたり、会話から把握するようにしている。 - ホームページでの紹介は広報担当者が行っている。 - 本人の思いを聞きこれまでの生活を知るようにしている。 - 近隣住民との顔なじみの関係ができるよう挨拶するなど努力している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- どんな資源があるのかわからない。 - コロナの影響で地域行事に参加できず、地域の方々との交流が出来なかった。 - 以前のように、紹介する機会がない。 - 本人の情報、民生委員との情報交換できていない。家族との関わりが少ない。 - 通所利用日以外の過ごし方の把握不足。地域資源把握不足。 - 地域資源の把握に乏しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
街地区民生委員会を開催月にこたわらずコロナ感染状況を把握・予測行い、ステーション活動の事業所紹介を行っていく。また、地域資源を知る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月28日（17：00～18：30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	高橋所長、阿部係長、菊地、荒川、高橋、埴崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1人	3人	5人	9人

前回の改善計画	感染予防しながら、地域資源を活用し（保育園・生涯センター・自治会）地域での活動や行事に参加交流していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域行事自体開催も少なく、感染流行もあり、地域行事への参加を自粛した経緯もあり交流、参加ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？			7	3	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	7	2		10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	5	3		10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	5	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の変化に気づき共有できている。本人のその日その時の柔軟な対応が出来ている。 ・本人に声掛けし、好みを聞いて要望に対応している。緊急時家族病院へ連絡し支援を行っている。 ・日々の関わりや記録から本人の変化に気づき、ミーティング等で共有することが出来ている。 ・行事で外出することが本年度できた。 ・本人や家族のニーズに対応できていると思う。 ・民生委員と関わりが出来ている。 ・本人の状態やニーズに合わせた柔軟な対応が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域活動、イベント行事への参加できなかった。 ・地域資源を利用した対応が出来ていない。 ・地域資源が活用できていない。 ・地域民生委員との関わりがない。 ・ケース記録は目標にそった記録ではない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者個々の社会資源を把握し、地域資源の活用していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月28日（17：00～18：30）
6. 連携・協働	メンバー	高橋所長、阿部係長、菊地、荒川、高橋、埴崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	2人	4人	9人

前回の改善計画	感染予防しながら、会議や地域行事に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	街地区民生委員懇談会の開催はできず、運営推進委員会も1回の開催、また地域行事にも参加できていない。しかし、登録者以外の緊急利用者の受け入れができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	4	6	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	4	6	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	4	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	2	7	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・園内の会議には参加できている。 ・自分が入っている地域のサークル等で事業所ではこういうことが出来る点など伝えている。 ・登録者以外でも緊急時には利用を受け入れ対応することが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域行事が中止になっている。 ・コロナウイルス感染防止のため、積極的な参加ができなかった。 ・会議参加が少ない。 ・自治体、会議等の参加が出来なかった。 ・感染予防の為相互に参加が困難。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ感染状況の把握、予防対策を行いながら会議の開催を実行していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月28日（17：00～18：30）
7. 運営	メンバー	高橋所長、阿部係長、菊地、荒川、高橋、埴崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2人	人	9人	11人

前回の改善計画	コロナ禍の状況を見ながら、パンフレットや訪問時等を通じ施設の内容を理解していただける活動を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域包括支援センター、町内居宅介護支援事業所にパンフレット配布や電話による、登録状況の説明を行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		3	4	5	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6	5	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		2	4	5	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？			4	7	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者・家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映できている。 ・苦情聞いたとき、上司に話し改善等迅速に対応できている。会議で事業所のあり方を共有している。 ・利用者・家族の意見、苦情を慎重に受け止め対応することに努めた。 ・地域の方々からの質問に事業所の特徴を伝えることがある。 ・事業所が良くなってほしいので考えを言うようにしている。 ・家族からの苦情に対し、対応について改善策を話し合い実施した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域住民へのアプローチ ・施設見学等の地域活動は計画しておらず、実施できなかった。 ・接点を持つ機会が少ない。 ・地域との協働がコロナにより難しい。 ・同じミスを繰り返すことがあった。 ・積極的に地域と関わる取組みがなかなか行えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の方々に明るく挨拶していく。話しやすい雰囲気を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月28日（17：00～18：30）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	高橋所長、阿部係長、菊地、荒川、高橋、埴崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	1人	5人	9人

前回の改善計画	コロナ禍状況を見ながら、資格取得やスキルアップ研修に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修委員会のオンライン研修、法人のリモート研修に参加できているが、外部研修参加はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		6	2	3	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2	6	11
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	1	4	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本年度ケアマネの更新研修をオンラインと集合研修により取得している。地域では班長の為事業所についての質問があった。 ・リスクマネジメントは既往歴等を伺いながら取り組めた。 ・コロナウイルス感染防止で消毒、換気、清潔、環境整備に努めリスクに備えている。 ・ハラスメント研修等の研修会に参加。 ・感染予防、事故防止のため取り組んでいる。 ・リモート研修を2回受講した。朝の申し送りで情報共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会は年に2回しかなかった。 ・他の研修会は消極的になることが多かった。 ・リスクマネジメントへの取り組みに不十分。 ・全員が研修に取り組めず、一部の職員のみになっている。 ・研修の実施、参加は出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職種にこだわらず、スキルアップのための外部研修に参加していく。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	6人	2人	人	10人

前回の改善計画	プライバシー保護のため、利用者様の状態に合わせた適切な誘導方法（筆談・ジェスチャー・ボード）で援助する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の身体状況や精神状態について、聞こえる場所や声のトーンに配慮不足があり守秘義務が守られていない場面があった。ひもときシート等で精神状態が不安定な利用者の対応方法を個別検討行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	5	5		1	11
②	虐待は行われていない	4	5	1	1	11
③	プライバシーが守られている	1	7	1	2	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3	2	5	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	6	2	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・プライバシー保護の為利用者の状況に合わせた対応をすることが出来た。 ・身体拘束や言葉の拘束を慎重に選ぶように人を変え対応するようにしている。 ・身体拘束や虐待はしていない。 ・虐待を起こさないよう慎重に対応している。プライバシーを守り、対応している。 ・本人が苦情を感じる身体拘束はない。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の聞こえる場所で他の利用者様の話をしてしまう事があった。 ・成年後見制度の活用。 ・配慮不足と声のトーンに注意していなかった。 ・帰りのミーティングで個人名が出ることもある。誘導等ストレートな「呼びかけ」が聞かれた。 ・フロア内で他者（今ここにいない人など）の話をすることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員間で利用者様の情報が洩れぬように、お互いに声を掛け合い丁寧かつ慎重な姿勢を言葉で連絡・報告する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 友愛会	代表者	理事長 佐藤 順	法人・ 事業所 の特徴	昭和５８年に法人設立。法人の理念・友愛と信頼、地域とともに 事業所は平成１８年４月１日介護保険事業所として指定を受ける。 「利用者の願い希望を尊重し家庭的な雰囲気の中で自立した生きがいのある生活が できるよう支援します」
事業所名	交流ステーション 友愛園	管理者	所 長 高橋 幸也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センタ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	１人	１人	２人	１人	１人	人	人	３人	人	９人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の 確認	・改善策の計画を職員会議等で定期的 に状況確認し不十分取り組むに 対し意見を出し合い、適切な 事業所評価にむすびつける。	・コロナ禍で大変な日々だったと 思われる。出来なかったことをさ らに継続することを望む。 出来たことも評価の対象とし て欲しい。 ・単純なミスやコミュニケーション 不足による「できない」はすぐ 改善に向けて取り組んでもらえ ればと思います。 ・達成するために、「いつやる」「い つまでにやる」期限を明確にする とより達成に近づくとします。 ・人で不足の中での情報の共有は 伝わりにくかったりして大変だ と思います。 ・コロナ禍で人員不足、精神的疲 労な状況下でかなり努力された と思います。 ・情報の共有がいかに本人や家 族・スタッフの皆さんをスムーズ につなげるか大事ですね。	・令和４年度はコロナ禍で大変な ご苦労があったと思うがそこ から得た教訓たくさんあったと 思います。是非今後の運営に生か して欲しい。 ・様々なミーティングの自己評価 を見させていただき出来たこと、 出来なかったことの分析も常 に行い共有が必要と思われます。 ・全てに置いて報連相の徹底を望 みます。 ・コロナもあり、職員の皆さんも 思うように支援できないもどか しさを感じていたと思います。そ の中で一生懸命やっていたい ている。 ・利用者に対し責任を持ち情報共 有しながら連携し継続してほし い。 ・基本的なことはできていると思 われるので今後も継続、実践し ていただきたいと思う。	・改善計画を職員会議で定期的に 状況を確認するために、職員会議 の議題にし「出来なかったこと」、 「出来たこと」の分析を行い共有 する。
B. 事業所の しつらえ・環境	・笑顔での挨拶を職員一同で取り 組むとともに、施設内外の環境整 備を行う。(雨漏り、玄関軒天井塗 装剥がれ修復、植木の剪定、除草	・笑顔対応いつまでもこころがけ ていただきたい。 ・表情・姿勢・態度にも注意し職 員一同、笑顔での挨拶を行う。	・環境整備については計画の通り 整備されていると思います。建物 自体古くなって来ていると思い ますので整備計画等の作成が必	・家庭的な雰囲気を大切に、表情・ 姿勢。態度にも注意し職員一同で 挨拶を行います。 ・建物、設備点検を行い修繕・備

	作業)	・コロナ禍で大変だっと思うが良く出来ていると思う。いつまでも笑顔をこころがけてほしい。	要な時期なのかもしれません。優先順位と予算を考えて。 ・職員の方々の基本的な部分は磨かれていると思います。 ・家庭的な雰囲気を今後も大事にしていきたい。 ・挨拶はよくできていると思います。このまま継続してもらえばと思います。 ・いつもながら皆さん明るく、次に挨拶をしていただき気持ち良いです。 ・建物の老朽化やワンフロアの中での利用者さんのお世話大変だと思います。 ・管理運営はよくできていると思う。 ・笑顔が人の気持ちを和らげる最大のポイント今後も！！ ・利用者の安全第一を考え、修繕が必要な箇所は修繕するほかないのかなと思います（コストはかかりますが）。 ・いつもこちら（来客側）を向いて挨拶してくれる、気持ち良いです。 ・ごはんやおやつが美味しくて職員の皆さんがやさしい、なによりです。	品交換を行います。
C. 事業所と地域のかかわり	・コロナウィルス感染症対策等を講じながら、できる範囲で地域行事への参加。 ・年2回の地域清掃ボランティア活動の継続。	・ほとんど出来なかったと思われます。今後の活動に期待します。 ・コロナは感染症法5類に移行しますが無くなる訳ではないので常に注意を心がけていただきたい。 ・地域民生委員の方へパンフレットを届けることやホームページ等でステーションの活動の事業	・コロナ禍で地域とのかかわりについて残念だが出来なかったことと思います。落ち着いてから未実施なことに優先順位をつけて実施していけたらと思います。 ・利用者の居住地が全町になってきているので、事業所と地域のかかわり方の考え方を再検討する必要があるのではと思います。	・地域包括支援センター、居宅介護支援事業、地域民生委員より、情報提供いただけるよう、定期的に登録情報の紹介し利用相談につなげ連携を密に行います。 ・感染症対策を行いながら、地域行事へ出席の検討、参加していきます。 ・年2回の地域清掃ボランティア

		所紹介を行う。 ・地域清掃ボランティア人手不足の中大変でしょうがぜひ継続してください。	・令和5年度はコロナ関係も緩和されることが多いので地域活動に参加してもらえればと思います。 ・民生委員さんとの関わりは重要かと思います。わざわざ時間を作るのは大変だと思いますので、地域の行事やイベントでお会いした時等に顔繋しておくとか。 ・保健福祉センター、民生委員などの横のつながりが必要かも。 ・地域資源活用として、保健福祉センターと連携して情報活用できればと思います。 ・街地区民生委員の方々との話し合いは、地域の一人一人をよく知る一番の人達なので実現していただければと思います。 ・自治会なり、婦人部から事業所にお声をかければ出向いてくれると聞いて部落で話してみたいと思います。 ・利用者の居住地が全町になってきているので、事業所と地域のかかわり方の考え方を再検討が必要では。	活動継続します。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・コロナウィルス感染症対策を講じながら、地域民生委員へ訪問等により、事業所紹介実施する。 ・利用者の地域住民（知人・友人）との関係が継続できるよう必要範囲内の情報共有を図る。	・コロナ禍で事業所対応に迫られた毎日でなかなか難しい状況の中できることに励んだと思われます。	・民生委員さん方との話し合いはとても参考になると思います。 ・利用者が街地区以外の方々が多くなっているので、情報の共有がステーション職員だけでは対応できなくなってくるのが心配しています。（送迎だけで限界にならないよう） ・利用者以外の方でも緊急案件として受け入れていただきました。 ・ミニドライブも開始されたようで、ご利用者様は喜ばれたと思い	・ステーション利用の方法、活動状況の報告ができ、より多くの地域住民に情報発信するために街地区民生委員懇談会を実現していきます。 ・利用者の地域住民（知人・友人）との関係が継続できるよう必要範囲内の情報共有を図り、関係性継続を支援していく。

			ます。 ・地域にどんどん施設をアピールして、知ってもらえるといいですね。 ・会議終わりにいただくおやつ、いつも美味しいです。食事が美味しいアピールポイントだと思います。 ・地域の方に向けて試食会をともいますが、感染対策が難しいでしょうが。 ・コロナも少しずつですが落ち着いて来て、地域の行事やお花見にも行ったと聞いて安心しました。 ・事業所が近くにあっても利用することがない限り中の事を知る人は少ないと思います。年に数回パンフレットなり、回覧でまわしてもいいのであればいいなあと思います。 ・民生委員との話し合いはとても参考になると思います。 ・利用者が街地区以外の方々が多くなっているので情報の共有が対応できなくなることが心配になります。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・コロナ禍の中、会議開催が文書開催中心となることを踏まえ、資料の内容や伝達方法、意見の収集方法に配慮し、委員の方々よりご意見、ご助言頂けやすいように対応する。	・運営推進委員会もコロナ禍で1回の開催だった。大変だったことが伺える。 ・委員の皆さんから出た意見を活かすため行動していらっしやいました。改善のために努力されていると思います。 ・書面開催より、対面での会議のほうが施設の現状をよく理解できます。	・昨年度のコロナ感染症は高齢施設のクラスター発生が全国的な課題となり異常事態仕方のないこととして受け止めている。 ・まだまだ安心できないコロナですが少しずつでも利用者の皆さんが行事に参加できていると聞いてうれしく思います。 ・コロナ禍の状況を見ながら、パンフレットや訪問を通じ施設の内容を理解していただける活動を行う。	・今年度は、感染症対策を行いながら、対面での運営推進委員会開催を行います。 ・運営推進委員会での意見、提案には、報告・周知、検討を行い改善に向けて取り組みます。

			・お試し利用をできることを知っていただくために、チラシ作りをすると会議で意見が出されました。是非実現させてください。	
F. 事業所の 防災・災害対策	・災害時の自宅にいる独居等利用者の安否確認方法や避難経路、家族との連絡など確認し対応方法を、避難訓練内容に取り入れる。	・独居等利用者の安否確認方法は、訪問や電話による確認、自宅での避難経路、緊急連絡先の確認はできている。避難訓練の内容に取り入れなかった。 ・定期的に備品の確認及び避難訓練の実施避難場所の確認が必要。	・災害はいつあるかわからない。様々なケースが考えられるので訓練を通して一つ一つ常に確認し共有してほしい。 ・一回防災訓練参加したことがありますが記憶に薄く機会があればと思います。 ・自宅にいる独居利用者の方々はいざ災害時不安ですね。 ・人手不足の中利用者の皆さんを守るのは容易ではないと思います。やはり日ごろの訓練、避難場所の確認、備蓄につきますね。 ・災害を想定したボランティアを募ってみていかがでしょうか。 ・防災グッズや食料品の備蓄等、管理が大変だと思いますが、よろしくお願いします。 ・災害対策は平時の訓練をいかに本気で取り組んでいるかが重要だと思います。 ・交流ステーションの場所だと、施設（自分たちが）発火元じゃないパターンも想定した訓練もあったもいいかと思いました。	・年4回の避難訓練開催を実行します。内容については、当事業所からの火災想定だけでなく、様々な想定での訓練を実施します。 ・災害対応用の備蓄品管理、更新避難訓練開催時に確認を行います。

